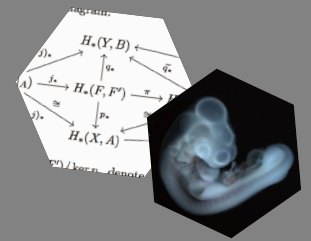


MACS セミナー



スタディーグループ ②

「イメージングと数理の融合：動きや形の定量とモデリング」

2018.2.27 火 17:00 - 18:00

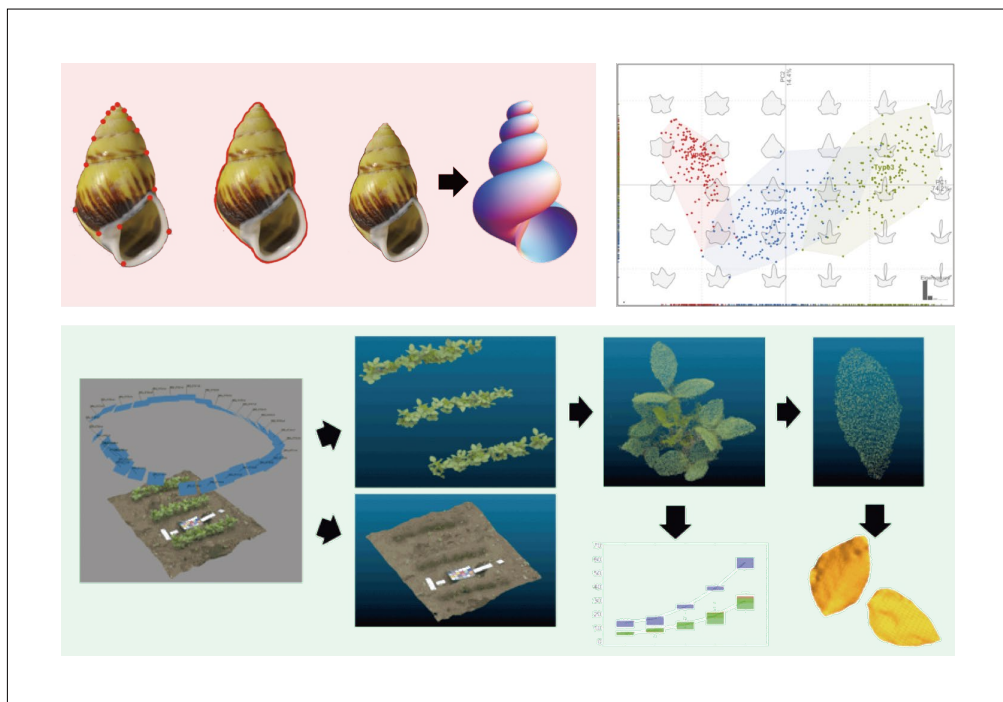
理学部 3号館 108 講義室

講師 ▶ 野下 浩司 博士 (東京大学農学生命科学研究科・JST さきがけ)

題目 ▶ かたちを測る：形態測定学と応用としての植物フェノタイピング

対象の「かたち」を測りたい。こうした要望は学問分野を問わず存在する。形態測定学 (morphometrics) は生物学, 物理学, 数学, 統計学, 画像認識など様々な領域の間で発達してきた理論と技術の総体で, 対象のかたちの計測・定量化・データが分布する空間の性質の解明に取り組んできた。

本講演では, 幾何学的形態測定学, 理論形態学に触れ, かたちを測るために開発されてきたモデルや“生の”画像データから「かたち」の情報を抽出する方法等について解説する。また, 最近の私の取り組みとして植物フェノタイピング (plant phenotyping) への応用事例を紹介したい。



『時空間イメージング拠点 (生命動態システム科学推進拠点事業)』共催
<http://www.systemsbiology.lif.kyoto-u.ac.jp/index.html>



MACS 教育プログラム

数理を基盤として新分野の自発的創出を促す理学教育プログラム

macs京大

検索

